

若者プロジェクトチーム

富里の課題を解決し

目指せ！サステナブル・コミュニティ



令和3年7月から令和4年2月までに計16回の活動を行う「若者プロジェクトチーム」は、公募により応募のあった市内に在住、在学する中学生から大学生の16人で構成され、地域課題の解決とSDGs（持続可能な開発目標）の目標達成に向け、「持続可能な住み良い富里市」になるように活動しています。

今回は、8月までに実施された活動内容をピックアップして紹介します。

市民活動推進課 ☎ (93) 1117

第2回の若者プロジェクトチームの活動として、7月31日に、SDGsについて学ぶ「SDGs 学習会」を開催しました。講師には、允治社代表の泉貴嗣さんをお迎えし、「SDGs をきっかけにこの街で暮らし続けるために自分たちが行動すべきことを考える」をテーマに、講演していただきました。

今回は、一般の方々にも、SDGs を“自分ごと”として考えていただくため、公開学習会とし、若者プロジェクトチームメンバー14人のほかに、一般参加者（オンライン参加者を含む）19人が参加しました。

参加者からは、「泉先生の講義は、とても分かりやすく、今までSDGsは大規模なものだと思っていたが、『自分ごと』『地域ごと』などで考えることができるということが分かった」という声が多く聞かれました。



「自分ごと」として捉えよう！みんなでできるSDGs

このようなこともSDGsの取組の一つです。

「地域資源の地産地消を徹底すること」

地域で収穫したものを購入し、食べることにより、地域のお店は維持することができ、街の元気が保たれ、車で遠くから材料を移動させることがないことにより、二酸化炭素の排出量も抑えることができます。

SDGs 目標 11

住み続けられるまちづくりを

SDGs 目標 12

つくる責任 つかう責任

SDGs 目標 13

気候変動に具体的な対策を



第3回から第5回は、地域で活動するの方々などに取材や現地調査を行い、地域の現状把握と地域課題について、メンバーで話し合いました。



若者プロジェクトチームメンバーは、3つのグループに分かれて、地域課題の解決に向けて奮闘しています。未来の富里のために活動する「若者プロジェクトチーム」の活動に、応援・ご協力をお願いします。

若者プロジェクトチームロゴマークが完成！

「若者プロジェクトの活気あふれる活動を表すデザイン」を若者プロジェクトチームメンバー全員に描いてもらい、その中からメンバーの投票により「シュリさん」が作成したロゴマークが基本ロゴに選ばれました。色をつけるなどのアレンジを加え最終的なロゴマークが完成しました。ロゴマークは、今後の事業に活用していきます。



日本語表記



英語表記